

## 市電の事故と対応について

## 「令和6年8月発生の車両脱線事故について」

事故等の概要	原因	緊急対策	恒久対策
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事故種別：車両脱線事故</li> <li>・ 発生日：令和6年8月3日（土）</li> <li>・ 発生時刻：14時07分頃</li> <li>・ 発生場所：桜島棧橋通停留場～鹿児島駅前停留場間（カリヨン広場前分岐部）</li> <li>・ 発生状況：鹿児島駅前停留場3番ホームへ入場しようとして軌道信号の進行信号現示を確認し進行していたところ、2番ホームと3番ホームの分岐を通過しようとした際に脱線した。</li> <li>・ 乗客等への影響：乗客約8名に負傷者なし</li> <li>・ 運行への影響：運休：247本 代替バス運行（朝日通～鹿児島駅前） 14時40分～22時50分 105便、1130名乗車</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2番ホームと3番ホームの分岐部のレールが密着不良であった。</li> <li style="text-align: center;">↑</li> <li>ポイントボックスとロッド棒が沈下や隆起により近接状態となっており、ポイントが転換する際にロッド棒のカラーがポイントボックスの縁に引っ掛かり、可動域が制限されたためと考えられる。</li> <li>・ 密着不良状態でありながら軌道信号は進行現示であった。</li> <li style="text-align: center;">↑</li> <li>ロッド棒にレールの密着性を確保するためにバネが装着されていたが、バネの伸縮分のあそびがあったことから、ポイント本体は正常に転換が完了したと認識したと考えられる。</li> <li>※別紙参照</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 管理者訓示（緊急局達）の通達</li> <li>・ 全運転士に対して、点呼時に事故概要の周知及びポイント密着の確認等について注意喚起</li> <li>・ 事故発生分岐部のポイントボックスについて、ロッド棒のカラーと接触する部分を切削</li> <li>・ ポイントボックスのある他11か所のポイントについて、ポイントボックスとロッド棒の間隔を点検</li> <li style="text-align: center;">↓</li> <li style="text-align: center;">異常なし</li> <li>・ 全14か所のポイントについて、密着不良状態での信号現示を検証し、ロッド棒にバネが装着されていた7か所について不具合を確認</li> <li style="text-align: center;">↓</li> <li>バネを外して検証したところ、正常な信号現示を確認したため、バネを外した。</li> <li>・ 軌道狂いが発生していた箇所での軌道整備を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電車事業課全体研修において、当該事故のドライブレコーダー映像を活用し、あらためて事故概要及び発生原因を説明するとともにポイント密着の確認等について注意喚起する。</li> <li>・ 全運転士に対して、過去5年間に九州運輸局に報告・届出した事故について、発生箇所や発生原因、再発防止策を記したハザードマップ等を配布し注意喚起する。</li> <li>・ 年1回実施する軌道検査の点検項目にロッド棒とポイントボックスの離れの測定を追加し、今後、その基準値等について検討する。</li> <li>・ 事故発生分岐器の全交換等の検討を行う。</li> <li>・ 施設・設備を点検し、老朽化した施設等については計画的に整備を行う。</li> </ul>